

『看護教育』 バックナンバーのご案内

(1部) 定価：本体 1,400 円＋税
年間購読 好評受付中！
電子版もお選びいただけます。

Vol.55 No.7

2014 年 7 月
特集

精神看護教育に改めて向き合う

「精神看護は他の領域と違って独特だ」というような言われ方をすることが少なからずあります。確かに身体的な看護とは一線を画すところもあるので当然かもしれません。しかし、だからといって、常に「専門家」に教育を任せられるわけではありません。特に専門学校においては、臨床で精神看護に携わった教員は他の領域よりは少ないことから、経験の少ない(あるいは、ない)教員が担当することは多いと思います。今回の特集は、そのような状況をふまえ、改めて精神看護教育のポイントを見つめ直し、できるだけ多くの皆様に精神看護について再認識していただこうと考えて組まれたものです。どの分野に関しても同じとはいえませんが、携わる携わらないにかかわらず、教育の重要性に注目していただきたいと思います。

- いま改めて問う精神看護教育の意義と可能性……………鈴木啓子
- 長い臨床経験をもつ教員から伝えられること……………小川隆美
- 実習病院での実務研修を毎日の教育に活かす……………永沼 功
- 実習指導者が、学校の精神科後教育に望むこと……………戸村正孝
- 精神科認定看護師制度 2015 年の改定について……………遠藤淑美



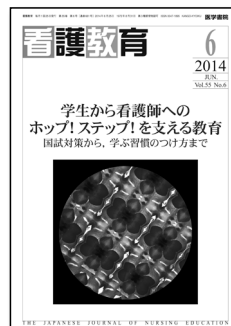
Vol.55 No.6

2014 年 6 月
特集

学生から看護師への ホップ！ステップ！を支える教育 国試対策から、学ぶ習慣のつけ方まで

教育の通過点としての国試、最低限の質保証としての国試、立場や見方によって「看護師国家試験」の位置づけはさまざまでも、その合格が看護師となるための必要条件であることに変わりはありません。どの養成所も避けて通ることはできず、それゆえ、国試との向き合い方を考えながら、教育のあり方を考えることになります。「教員のための国試対策」と題して 2013 年秋に開催された「医学書院看護教員『実力養成』講座」では、「国試対策」をキーワードに看護基礎教育をめぐる幅広い議論が展開されました。その内容は受験を間近に控えた学生を対象にした「対策」に留まらず、出題基準の改定、国試が受験者に求める能力、入学時からの学生指導、学校の文化醸成にまで及びました。本特集では 3 名の講師による講座のダイジェストとともに、その指導を受け現在は臨床で働く卒業生からのコメント、講座の参加者の声を紹介します。次の国試対策を改善するヒントを得ていただくと同時に、少し先を見据えて自校の教育のあり方を考える機会にしていきたいと思います。

- 国試対策は学生が入学したときから始まっている……………島田千恵子
- 国家試験で問われる能力をどう育成するか……………池西静江
- 誠実を胸に刻むこと、ともに未来を語る……………大日向輝美
- 合格へ導くために教員全員で支援……………尾田恵
- 学生自身が主体であることを意識づける——国家試験対策での学校の役割……………船場清三
- 看護師国家試験全員合格に向けた取り組み……………畠山幸喜



【2014 年 5 月号 (Vol.55 No.5)】

ピアの力を信じよう
学生同士で教え合うしくみの活用

【2014 年 2 月号 (Vol.55 No.2)】

**効果的な授業の
工夫としての e ラーニング**

【2014 年 4 月号 (Vol.55 No.4)】

**「おかしいな」と
思ったときの学生指導**

【2014 年 1 月号 (Vol.55 No.1)】

授業研究のすすめ

【2014 年 3 月号 (Vol.55 No.3)】

**さまざまなアプローチに
よるリフレクション**

【2013 年 12 月号 (Vol.54 No.12)】

**移動介助技術の指導方法
ボディメカニクスを実践に活かす**

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2012 年 6 月号 (Vol. 53, No. 6) 以前の号は、東亜ブック (TEL.03-3985-4701, FAX 03-3985-4703, <http://www.toabook.com/>)
- 2012 年 7 月号 (Vol. 53, No. 7) 以降の号は、医学書院販売部 (TEL.03-3817-5659) にお願います。